

平成21年度 地方自治体による国内クレジット制度活用推進フォーラム資料

共同店舗におけるCO₂削減と販売促進

2009年 12月 9日

全国中小企業団体中央会
政策推進部

目次

1. 全国中小企業団体中央会
（20, 21年度国内クレジット制度支援団体）の概要
2. 先進事例 A（福井県福井市）
パリオCITYの省エネルギー（東部商業開発事業協同組合）
3. 先進事例 B（熊本県熊本市）
パディーmarketの省エネルギー（西部ショッピングセンター協同組合）
4. 商業振興における国内クレジット活用のために

1. 全国中小企業団体中央会の概要

設立：1956(昭和31)年4月10日

会長：鶴田欣也

組織：47都道府県中央会及び全国を地区とする業種別団体より構成

中央会加入組合等の所属中小企業者数は約300万人

会員：都道府県中央会：47
全国を地区とする業種別団体：367
中小企業組合数：32000

国内クレジット制度20年度事業実績

診断支援：167件
計画策定支援：20件
審査機関支援：9件

2. 先進事例 A (福井県福井市)

パリオCITYの省エネルギー (東部商業開発事業協同組合)

事業概要

空調高効率チラー

ポンプインバーター
化・制御システム

照明の高効率化



先進事例先の概要

SC概要

組合名 東部商業開発事業協同組合

「店舗愛称：パリオCITY」

住所 〒910-0852 福井県福井市松城町12-7

代表者名 理事長 塚田恭三 核店舗(株)ヤスサキ 代表取締役 安崎政士

サブ各店舗 トイザラス 代表取締役 モニカ・メルツ
開店年月日 平成1年11月22日

出資金 16,500千円(現在)

敷地面積 11,979㎡ 店舗面積 13,800㎡

建物構造 鉄骨造り・耐火構造4階建・塔屋1階

駐車場 1200台 (地上700台・館内屋上500台)

定休日 無定休

組合員数 27名 組合・テナント店舗混成 (専門店店舗総数55店舗)

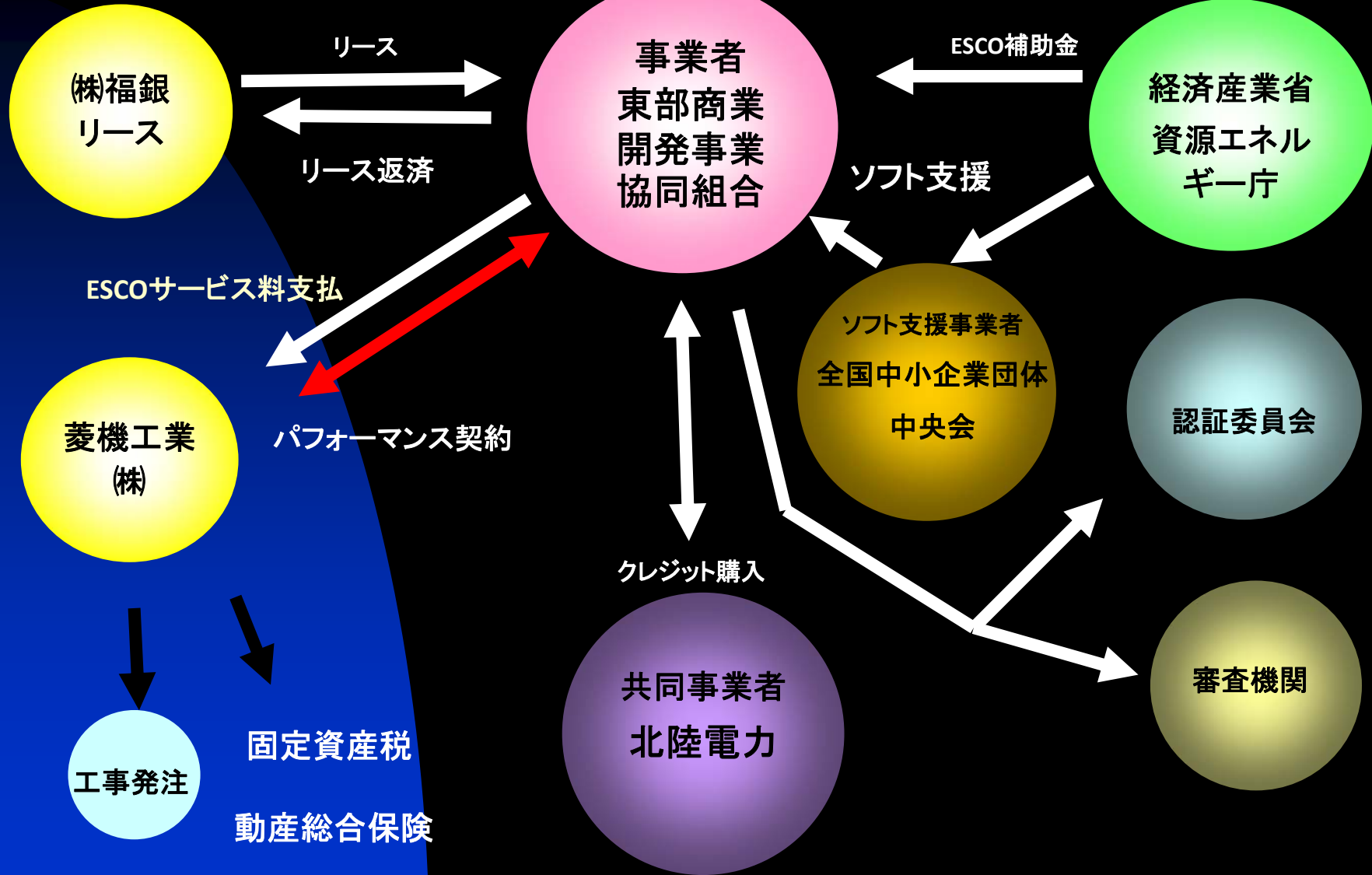
先進事例先の概要

SC沿革

- ・昭和60年10月4日 組合設立
 - ・平成元年11月22日オープン（組合員総数 47名）
 - ・創業時資金、出資金 23500千円
 - ・平成6年、4月 3階売場に改造、増床オープン
総額 1120百万円
(自己資金118百万・高度化802百万・借入金200百万)
 - ・平成14年、4月 サブ核店舗「トイザラス福井店」オープン
を機に名称変更「イーストモール パリオ」→「パリオCITY」改称
 - ・平成20年、4月 3階 トイザラスにベビーザラス併設出店
 - ・平成21年、9月 核店舗 ヤスサキ2・3階売場リニューアル
本年度 専門店5店舗オープン等
- 競合店のまねでなく、一步先行く、先端性を取込み嗜好の異なる顧客満足度の最大化を目指す・・・買物券自動発券機・来店ポイントスロット機・iDおサイフケータイ等

◆ 全体スキーム ◆

関連事業者



先進事例先の具体的内容

事業名称

東部商業開発事業協同組合への空調高効率チラーの導入、ポンプ関連のインバーター化、計器自動計測・制御システムの導入、共用部分の照明器具の効率化

事業目的(背景)

- ①度重なる空調供給用吸収式ボイラーの改善修理費・累計費用の増大(老朽化)
- ②近年のオイルショックなどの要因とする重油価格の高騰によるランニングコストの増加
- ③階層及びフロア一部所により冷房及び暖房・空調効果のバランス、不均衡の問題
- ③ショッピングセンター内の経済的且つ空調快適性の必要性(コスト軽減対策)

導入設備・技術概要

- ・照明器具の高効率且つ調光可能型インバーターを搭載。調光信号を受け単体でも調光制御に対応できる。トータル管理制御システムで調光制御を行うことにより時間帯別、エリア別のエネルギー消費を抑え売場環境の最適な照度設定が可能。
- ・空調は最新の高効率機器、エコアイスシステムを導入することにより、化石燃料の比率が低い夜の電気を活用し、昼の電力消費を抑制することで、負荷の平準化をはかり、更なるエネルギーの削減がみこめる。



既存の屋上冷却塔 2機



吸収式冷温水発生機(左)2機
冷却塔(右) 既存のタイプ



新規導入・高効率チラー

先進事例先の効果

1) 省エネ・炭酸ガス排出削減効果

炭酸ガス削減量	CO2削減	628t /年
合計量		2,007 t /年
省エネルギー量	重油削減	205kl /年

設備費用額： 事業経費・・・7,475万円（純投資4.475）

費用対効果： 事業効果…………… 825万円

省エネ投資回収年数 $4,475万 \div 825万円$
=5.4年

* 国内クレジット売却収入により投資回収の改善、
また共通の活動費に当てることが可能

2) 店内・外で先進的企業イメージによる集客

効果が期待できる

3. 先進事例 B (熊本県熊本市)

パディーマーケットの省エネルギー (西部ショッピングセンター協同組合)

事業概要

エコアイスによる

効率改善

照明改善事例



先進事例先の概要

SC概要

組合名 協同組合西部ショッピングセンター

「店舗愛称:PADDY MARKET」

住所 〒860-0064 熊本市城山半田1-2-25

代表者名 理事長 葉山廣行

開店年月日 平成1年2月7日

出資金 40,420千円

敷地面積 11,393㎡ 店舗面積 2,159㎡

駐車場 270 (駐輪 50台)

営業時間 午前9時～午後9時まで

定休日 1月1日

休業日数 年間1日

主な業種 青果、精肉、鮮魚、惣菜、酒、
食品、雑貨、お茶・クリーニング、紳士服衣料、薬・
化粧品、生花、美容



先進事例先の概要

SC沿革

- ・昭和63年4月組合設立、平成1年2月7日開店（組合員8名、テナント1名）
- ・創業時資金、818,694千円（自己資金191,604千円＋高度化資金627,090千円）
- ・平成6年、熊本県共同店舗10組合で協連）ディアライフグループを立上げ共同事業を開始「事務局を協）西部SCにおき、事務局業務を代行」
- ・平成11年リニューアル実施、売場の改装及びPOSシステム入替等
- ・平成16年度、中期計画立案――5年後を目標に「リニューアル実施」
- ・平成16年度以降、地場大手スーパー破綻により、ジャスコ、イズミヤ等県外大手SC出店が相次ぐ
- ・平成16年度10月、電子マネー「Edyカード」でのレジ決済開始（共同店舗では全国）
- ・平成20年6月、組合運営管理業務を外部委託（事務局員雇用廃止）
- ・平成21年9月、直線2kmの組合県有地にロック開発が商業施設オープン予定
- ・平成21年度、リニューアル実施

先進事例先の具体的内容

事業名称

協同組合西部ショッピングセンターへの空調設備の蓄熱(エコアイス)方式への転換と高効率インバーター照明器具への転換、トータル管理制御システムの導入による省エネ事業

事業目的・概要

ショッピングセンター館内の空調設備を蓄熱(エコアイス方式)に転換し、照明設備を高効率の照明器具に転換し、システムの省エネを図る。

また時間帯別調光制御、トータル管理制御システム(遠隔監視機能付)を導入。

導入設備・技術概要

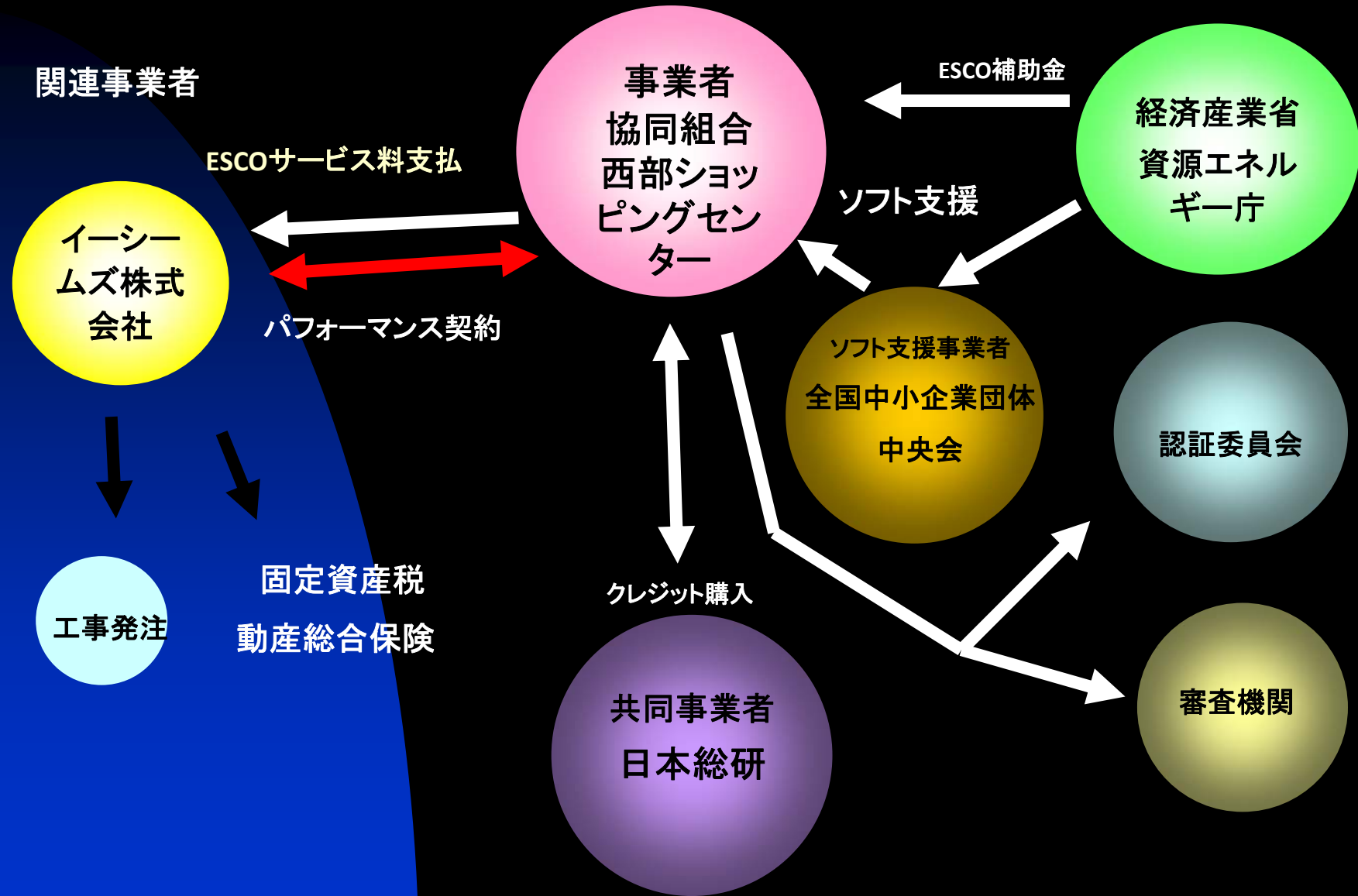
・照明器具の高効率且つ調光可能型インバーターを搭載。調光信号を受け単体でも調光制御に対応できる。トータル管理制御システムで調光制御を行うことにより時間帯別、エリア別のエネルギー消費を抑え売場環境の最適な照度設定が可能。

・空調は最新の高効率機器、エコアイスシステムを導入することにより、化石燃料の比率が低い夜の電気を活用し、昼の電力消費を抑制することで、負荷の平準化をはかり、更なるエネルギーの削減がみこめる。

先進事例先の具体的な内容(現状機器写真)



◆ 全体スキーム ◆



先進事例先の効果

1) 省エネ・炭酸ガス排出削減効果

炭酸ガス削減量	CO2削減	101t /年
合計量		327 t /年
省エネルギー量	重油削減	58.3kl / 年

設備費用額： 事業経費……………4, 856万円

費用対効果： 事業効果…………… 639万円

省エネ投資回収年数 $4,856万 \div 639万$
=7.6年

国内クレジット売却収入により投資回収の改善、また共通の活動費に当てることが可能

2) 店内・外で先進的企業イメージによる集客

効果が期待できる

4. 商業振興における国内クレジット活用のために

- ① 組合員に対して理事会等の機会に時代の先取のための情報を提供
- ② 推進する担当者は少なくとも1, 2年先の計画を立案、事前に知らしめる。
- ③ 資金繰りは最も大切なポイント。国の補助制度、金融・税制の最新情報を確保
- ④ 技術検討に外部の力を積極的に活用
- ⑤ 工事計画は営業閑散期を選ぶ(全体計画のポイント)
- ⑥ 工事の発注は複数の見積もりを得て、総合的に判断